

とよはし共創プログラムキックオフセミナー

共創を 経営手段の一つとして学ぶ

参加費
無料

スタートアップとの連携を、
自社の新規事業や課題解決につなげるヒントを。

2026 **10.14** 水
15:00-18:00

セミナー終了後、参加者同士の交流会を予定しています

- 第1部 共創手法・スタートアップとの連携について
協業手法の解像度を上げる「課題起点」と「ビジョン起点」
- 第2部 事例共有
県内の中堅・中小企業とスタートアップの共創事例
- 第3部 交流会

定員 会場 | 50名程度/オンライン参加可

場所 **MUSASHi Innovation Lab CLUE**
豊橋市駅前大通1-135 COCOLA AVENUE3F

「とよはし共創ラボ」を活用し、
地域事業者とスタートアップ
企業との「共創」を支援する
ためのプログラム（12月～
3月）を行います（詳細は裏
面をご覧ください）。
今回は気軽に参加できる入門
講座です。

とよはし
共創ラボ



地域企業と全国のスタートアップ等の
マッチングを行うオンラインプラットフォーム

対象者

豊橋市内の

- ・新規事業の創出
 - ・業務課題の解決
 - ・スタートアップ連携
- に関心をお持ちの経営者・事業担当者

お申し込みは
こちら



上の2次元コードを読み取り、申込みフォームに
必要事項をご記入のうえお申込みください。

<https://peatix.com/event/5177158>

主催 豊橋市(共創コミュニティ創出支援事業)

運営 MUSASHi Innovation Lab CLUE
株式会社 Monozukuri Ventures

問い合わせ MUSASHi Innovation Lab CLUE (担当: 前田)
TEL 080-4417-0945
Mail innovation_clue@musashi.co.jp

「話を聞く」だけでは終わらない
ここから、あなたの会社の
新しいプロジェクトが動き出す

本イベントで学べること

市場環境や顧客ニーズが変化するなか、
自社だけですべての技術やアイデアを生み出すのではなく、
スタートアップなど外部企業の技術や知見を活用する
「共創」が、新たな事業を生み出す手段の一つとなっています。

本イベントでは、共創の基本的な考え方から、スタートアップとの具体的な連携方法
までを実践事例とともに紹介します。
特に、**自社が抱える課題から協業を考える「課題起点」と、実現したい未来や
事業から逆算する「ビジョン起点」という2つのアプローチから、
協業の考え方を整理。**

「スタートアップと何から始めればいいのかわからない」「自社の課題をどのように外部企
業との連携につなげればいいのかわからない」といった企業に、
共創を具体的なアクションにつなげるヒントをお届けします。

POINT!
こんな方におすすめ

新規事業に
取り組みたいが、
自社だけでは
アイデアや技術に
限界を感じている方

POINT!
こんな方におすすめ

自社の業務課題を
他社との連携に
よって解決したい方

POINT!
こんな方におすすめ

スタートアップとの
連携に関心は
あるものの、
何から始めれば
よいか分からない方



第1部 15:10~16:10

共創手法・スタートアップとの連携について
協業手法の解像度を上げるー「課題起点」と「ビジョン起点」

Monozukuri Ventures
代表

牧野 成将 氏

豊橋市出身。製造業・ハードウェ
ア領域を中心にスタートアップへ
の投資・支援を行い、日米250社
超の支援に携わる。スタートアップ・投資家側
の視点から、製造業企業がスタートアップとの
共創をどのように進め、新たな事業機会につなげていくのかを紹介します。

SPEAKER



武蔵精密工業株式会社
Chief Innovation Officer

伊作 猛 氏

地域に本社を置く製造業として、
スタートアップをはじめとする外部企業との
共創を実践してきた経験から、その取り組みや
事業会社としてのリアルな視点を共有します。

SPEAKER



第2部 16:10~16:40

事例共有
県内の中堅・中小企業とスタートアップによる共創事例

第3部 16:50~18:00

交流会

とよはし共創プログラム

地域企業とスタートアップがつながるマッチングプラットフォーム「とよはし共創ラボ」を活用した
共創づくりを目指します。「とよはし共創ラボ」に課題を掲載したい企業はこちら！

2026年 12月
ワークショップ 01
自社課題等から共創テーマを考える

2027年 1月
ワークショップ 02
Station Ai (名古屋市) で、
スタートアップと実際に対話をして
連携の可能性を高める

2027年 3月
成果報告会
共創の成果を発信する